

④ さくらんぼ検診プラン



プレママ・プレパパも「子育て支援窓口さくらんぼ」へ！

- ・母子手帳の交付を新庁舎4階でも行う
- ・産前に産後の情報を入手でき、一度行ってみることで、今後も足を運びやすくすることが目的。

豊島区独自の検診プラン（3ヶ月・1歳半・3歳児検診）

- ・土・日実施を行う
- ・土日にも実施し、働くママやパパも参加しやすく。
- ・イクメンパパを増やす。
- ・少人数でニーズに合わせた、希望者はゆっくりと話ができる乳児健診。
- ・検診の前後でコミュニケーションタイムを設け、手遊びやゲーム等を通してママ友を作ったり、保健師に気軽な相談ができ、孤独な子育てを防ぐ。
- ・他自治体と比べても充実している東西支援センターの存在をアピール！
- ・保健師のスキルアップ
- ・傷つきやすい母親への対応、支援センターのノウハウを活かした研修
- ・検診後アンケートの実施、要望を取り入れた改善（実地、後日ネット等）

17

⑤ さくらんぼ保育プラン

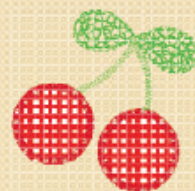


数はあたりまえ！質の豊島区！

- ・新制度に対するわかりやすい説明会、ワークショップの開催
- ・新制度の元、専門性のある保育で子どもたちの健やかな成長を
- ・小規模保育事業B型・C型の保育士資格の割合を今まで通り6割とする。（6割以上：練馬区、港区、新宿区等）
- ・家庭的保育（保育ママ）の定期的な研修と新たに始める方は保育士資格を条件とする。
- ・3歳児の待機児童対策として区立幼稚園の活用
- ・区立幼稚園3園を2年保育から3年保育にする。
- ・預かり保育希望者には夏休みなど、長期休み中も保育を行う。



さくらんぼ子育てプランで、 ワクワク、安心安全な毎日に！



19

配布資料目録

F1会議 ななまるねっとわーく

- 1 F1会議ななまるねっとわーく活動記録
- 2 2014年8月30日付経過報告
- 3 横浜市戸塚区「とつかの子育て応援ルームとことこ」訪問に関する報告
- 4 「とつかの子育てルームとことこ」のリーフレット
- 5 内閣府 全国自治体の子育て支援政策に関する調査報告書(平成25年3月)
Ⅲ.3.市区町村／先進的取組事例集(抄)
1枚目 埼玉県和光市
2枚目 東京都豊島区
3枚目 神奈川県横浜市
- 6 和光市子育て支援総合コーディネーター・佐藤さんからのヒアリングレポート
- 7 豊島区保健所へのヒアリングレポート
- 8 2014年9月20日付経過報告
別紙1 西部子ども家庭支援センター 長野センター長からのヒアリング
別紙2 隈研吾先生からのメッセージ
※ 別紙3は資料7と重複するため省略
- 9 「子育てママ応援塾直営サロンほっこり〜の」のリーフレット
- 10 戸塚区地域子育て支援拠点「とつとの芽」訪問とヒアリングの報告
- 11 戸塚区地域子育て支援拠点「とつとの芽」のリーフレット
- 12 戸塚区地域子育て支援拠点「とつとの芽」貸し出しのルール
- 13 戸塚区保育協力者グループ「きらきらの会」親子サークルのあそびお手伝いします
- 14 こまちカフェの案内
- 15 こまちカフェの「こまちひろば」2014年9月のイベントスケジュール
- 16 平賀先生への豊島区新庁舎に関するインタビュー
- 17 ななまる子育てプラン(案)
- 18 保健所と区政の連携強化について
- 19 ななまる子育てプラン(案) 改訂版
- 20 まちの子はぐくみフェスティバルinこうとう(江東区)のチラシ
- 21 ファーマーズコラボ市ほっと縁市(北区)のチラシ

F1会議 ななまるねっとわーく 活動記録
(2014年8月～12月)

日付	活動内容	メンバー	資料No.
平成26年8月9日	第1回F1会議	渡邊、追杉、木内、杉森、松田	
平成26年8月16日	チーム全体ミーティング	渡邊、追杉、木内、杉森、松田	
平成26年8月30日	第2回F1会議	渡邊、追杉、木内、杉森、松田	2
平成26年9月2日	豊島区東部子ども家庭センター指田センター長からのヒアリング	松田	
平成26年9月3日	「とつかの子育てルームとことこ」(横浜市戸塚区)訪問及び責任者からのヒアリング	追杉	3～5
平成26年9月3日	「あさやけ子ども食堂」(豊島区要町)訪問	木内、杉森	
平成26年9月9日	和光市子育て支援総合コーディネーター佐藤さんへの電話インタビュー	追杉	5,6
平成26年9月9日	豊島区健康推進課尾本課長からのヒアリング	木内、杉森	7
平成26年9月9日～12日	隈研吾先生への電子メールによる照会	追杉	8別紙2
平成26年9月12日	豊島区西部子ども家庭支援センター長野センター長からのヒアリング	追杉	5, 8別紙1
平成26年9月12日	新庁舎整備報告会への出席	追杉	
平成26年9月20日	「子育てママ応援塾直営サロンほっこり～の」(北区)訪問	渡邊	9
平成26年9月20日	第3回F1会議	渡邊、追杉、木内、杉森、松田	8
平成26年10月4日	チーム全体ミーティング	渡邊、追杉、木内、松田	
平成26年10月	戸塚区地域子育て支援拠点「とつとの芽」訪問及び運営法人からのヒアリング	渡邊	10～15
平成26年10月19日	ランドスケープアーキテクト平賀先生からのヒアリング	渡邊、木内、杉森、松田	16
平成26年10月19日	第4回F1会議	渡邊、木内、杉森、松田	17,18
平成26年11月1日	新庁舎チームミーティング	渡邊、追杉	
平成26年11月4日	豊島区子育て支援課猪飼課長からのヒアリング	渡邊、木内	
平成26年11月8日	第5回F1会議	追杉、木内、杉森、松田	19
平成26年11月21日	豊島区施設管理部庁舎建設室小池室長・星野さんからのヒアリング	追杉	
平成26年11月30日	チーム全体ミーティング	渡邊、追杉、木内、杉森、松田	
平成26年12月2日	ワンポイントアドバイス	渡邊、追杉、木内、杉森、松田	

経過報告

2014年8月30日

F1会議 チームななまるねっとわーく（子育て）

1 テーマの設定

メインテーマ = 「妊娠～出産～子育て に関わる窓口の一元化と子どもの安心・安全」
（サブテーマ = 不妊治療の支援）

2 「ななまる子育てプラン」（仮称）の骨子

① 新庁舎に一本化された窓口&シェアスペース

- ・デパートに設置されている「総合案内」のようなイメージ。
- ・「総合案内」を通じた適切な部署への案内（部署間の情報共有も可能に）。
- ・キッズスペースとカフェの設置。
- ・保健師による授乳相談等の個別子育て相談。保育コンシェルジュによる相談会等、保育施設との連携。
- ・母親自身の自己啓発に有用な講座の開講。
- ・子供の感染症や病気、近隣の高度拠点病院をはじめとする医療機関の情報提供

② 区長直轄の「子育てプロジェクトチーム」

- ・子育てに関する政策が実行されやすいように。
- ・目安箱を設置。プロジェクトチームが開け、必ず区長に声を届ける。

③ 公園の整備

- ・F1会議で特に多かった「公園をキレイにして欲しい」という声を受けて。
- ・プレーパークの充実とプレーカーの導入支援

④ 区独自の保育施設の第三者認証

- ・東京都と別に、豊島区独自で区内の保育施設の第三者認証を。

⑤ 医療機関との協定と予防接種完全無償化

- ・豊島区内の拠点病院である都立大塚病院と協定を結ぶ。
- ・小児科の充実。
- ・予防接種の完全無償化。

※ 不妊治療の支援については検討中。
以上

横浜市戸塚区「とつかの子育て応援ルームとことこ」訪問に関する報告

1 立地等

- ・戸塚駅からエレベーターで3階へ。商業ビルを通り抜け、区庁舎3階に直結。左にカフェ、右奥の閉じられた空間に「とことこ」がある。
- ・不審者が入りにくい雰囲気。
- ・受付で、どこの地域か聞かれる。
- ・スペースは広くない。
- ・対象は未就学児。

2 責任者のこばやしさんの話

(1) 設立の経緯

- ・昨年新庁舎ができたときにオープン。したがって、オープンしてからまだ1年強。
- ・「戸塚区地域子育て支援拠点とつとの芽」と同じNPO法人(NPO 法人子育てネットワークゆめ)が運営。
- ・保育6人、情報4人の体制。
- ・こばやしさんは保育士で、元々「子育て支援者」(児童館がないため身近な遊び場をということで各地区の既存施設の中に作られた親子連れのためのスペースに、週1回行って相談に乗る仕事。「遊び場・しゃべり場・ほっとタイム」という事業。)をしていた。
- ・昨年「とことこ」ができたときにNPO 法人子育てネットワークゆめに入った。

(2) 情報

- ・別のNPO法人(NPO 法人こまちぷらす)に再委託。NPO 法人こまちぷらすは、小さな子どもとそのママのためのカフェ、「こまちカフェ」も運営している。
- ・スタッフは、現役子育て中のママたち。皆頑張って勉強している。
- ・週1程度の勤務。その間子供は、一時保育を利用したり、小学校に行っていたり。
- ・多いのは遊び場に関する相談。ただ、話している間に他の悩みのお話が出てくることも。そういうときは、2階(すぐ下のフロア)にいる保健師や保育コンシェルジュ(こちらは役所の職員)に回す。
- ・保育コンシェルジュは当初1人で、予約しないと話せないこともあったが、2人体制になって、いきなり行っても大抵の場合は大丈夫になった。
- ・役所につなぐ場合、基本的に「〇〇に行ってください」と言うが、心配なときはきちんと引き継がれるよう同行することもある。

(3) 保育

- ・1ヶ月に100人程度が利用。月末が多い。3月も多かった。
- ・予約、事前の登録とも不要。定員6人だが大抵は予約なしでも大丈夫。
- ・2時間までと決まっているが、皆15分ほどで戻ってくる。
- ・当初様々なトラブルを予想したが、そうしたことは今のところない。何かあっても、携帯に電話すれば飛んできてくれる。

3 補足

- ・横浜市は、元々児童館がなく、子育て支援が充実していたわけではなかったところを、最近になって、NPOの力を借りたりして充実させてきているのかなという印象でした(とつとの芽も保育コンシェルジュも新しい)。
- ・また、未就学児の話ばかり出てくるので、小学生の方はどうなのかと聞いたところ、「これから横浜でも問題になってくるかもしれない。」というお返事でした。

以上